

発信

## 地域就労支援事業に関わって — 企業の意義

イトキン株式会社 岡 正己

地域就労支援事業は、2002年より大阪市と府内各市町村に順次設置されてきました。

さまざまな要因により、就職が困難な方々への就労相談と支援がその目的となっております。「同和地区人材雇用開発センター」が「おおさか人材雇用開発人権センター(C-STEP)」として新たにスタートした年でもあります。

### 新たな取り組み「人材養成事業」

今年で4年目を迎え、地域就労支援事業も多くの求職者が相談に来られ、事業の役割がますます大きくなっております。企業では、「おおさか人材雇用開発人権センター(C-STEP)」会員企業が中心となり、地域就労支援事業の新たな取り組みの一つであります「人材養成事業」の会社見学や職場実習、就労体験会やジョブトレーニングで事業の一端を担うようになってきております。地域就労支援事業は地域住民の皆様や行政、企業がそれぞれの役割を果たしお互いが連携することによってその機能が最大限に発揮されるものであり、そのための企業の関わりと意義がますます大きくなってきております。

### 「人材スキルアップ事業」の成果

当社は、2004年度と2005年度には「人材スキルアップ事業」の職場実習の受け入れと2003年にはジョブトレーニングコースを実施しております。ジョブトレーニングは当社「ファッションアパレル販売」に関連する求人情報が、C-STEPを通じて地域就労支援事業へ公開され、会社説明会を開催しましたところ、3名の方の応募がありました。その中で1名の若年男性が3ヶ月のジョブトレーニングに望み、終了後社員として採用となりました。このコースは、いわゆるトライアル雇用の実践であり、就労希望者

も採用する側も一定期間職場と仕事を体験しお互い納得して雇用に結び就ける仕組みです。採用後のミスマッチを最小限に止めるシステムといえます。

「人材スキルアップコース」は、地域就労支援事業でのC-STEPの人材養成プログラムとして年に3回開講されます。それぞれのコースでは後半2週間は受け入れを表明した企業で職場体験をして、前半2週間で学んだことを実際に企業で仕事を通じて体験し、意欲の向上を図ることが目的となっております。当社は昨年8月と今年7～8月に実習を行いました。事前の受け入れ職場との打ち合わせの段階や実際に実習に携わってみますと、実習に来られた方はもちろん、受け入れ企業のスタッフにも刺激があります。

### 企業の意義

地域就労支援事業はあくまでも就職困難な方への就労支援が本来の趣旨です。人材スキルアップコースなど人材養成事業はその手段ではありますが、求職者の皆様が安心して能力を発揮できるよう支援することが、結果として就労に結びつく大切な事業といえます。この事業に企業の業務を通じて関わることで、効果的な支援となり地域就労支援事業へ企業もその役割を果たす意義があると考えます。

